



原子力安全技術研究所の 取り組みについて

- 当社は、福島第一原子力発電所の事故を契機として、さらなる原子力の安全性向上を目指し、原子力に係る研究の取り組みを一層強化するため、2012年7月、浜岡原子力発電所内に、「原子力安全技術研究所」を設置しました。
- 同研究所では、浜岡原子力発電所の現場を活用した研究や、現場ニーズを的確に反映した研究に取り組むほか、公募研究などを通じて、大学・研究機関等と連携して、将来にわたって原子力をエネルギー源として安全利用していくための研究にも取り組んでいます。

1. 公募研究の募集および採択について

(1) 応募の状況

- 2012年10月より、2か月間募集を実施。応募総数**81**件。
応募81件の内訳は、
 - 全国の国・公・私立大学から**54**件
 - 研究機関から**17**件
 - 企業（静岡県内に事業場のある企業）から**10**件
 幅広いテーマで応募をいただきました。

募集した研究の領域（分野）		応募件数	採択件数
領域1	原子力の将来技術に資する基礎基盤的研究	27	5
領域2	原子力発電所の安全性向上に資する研究	35	5
領域3	浜岡1,2号機の廃止措置の改善に資する研究	14	2
領域4	浜岡3,4,5号機の保守性・作業性の向上に資する研究	5	1
合計		81	13

(2) 選考方法

- 社外の学識経験者などで編成する「アドバイザー・コミッティ」の審査を経て、今年3月に**13**件を採択。順次、研究を開始しました。

(3) 「2014年度開始研究」の公募について

- 2014年度に研究を開始するテーマについて、今年中に募集を開始する予定です。募集要項がまとまったところで別途お知らせいたします。



2. 2013年度の公募による採択研究について

(敬称略)

領域1：原子力の将来技術に資する基礎基盤的研究

研究テーマ名	研究代表者
空気冷却器を利用した崩壊熱除去システムに関する研究	福井大学 望月 弘保
トリウム溶融塩炉の苛酷事故ソースターム評価手法の構築を目指す基礎的研究	福井大学 山脇 道夫
放射性物質の同定と分布状況を表示可能な放射線画像検出アレイの開発	名古屋工業大学 ニラウラ マダン
シリカエアロゲルを用いたリアルタイム90Srカウンターの開発	千葉大学 河合 秀幸
遠隔方向検知ガンマ線計測の研究	静岡大学 青木 徹

領域2：原子力発電所の安全性向上に資する研究

研究テーマ名	研究代表者
配管亀裂発見の早期化と放射性物質漏洩防止の研究	丸大鐵工株式会社 長松 孝俊
流動加速腐食における減肉箇所の予測高度化に関する研究	名古屋大学 辻 義之
地震荷重により構造物に蓄積された疲労損傷の可視化技術と健全性評価	東北大学 渡邊 豊
高比重消波ブロックの耐津波安定性評価手法の構築	名古屋大学 水谷 法美
放射性セシウムおよびトリチウムの環境中でのダイナミクス	静岡大学 大矢 恭久

領域3：浜岡原子力発電所1,2号機の廃止措置の改善に資する研究

研究テーマ名	研究代表者
廃棄乳オゾンドを利用した除染水の処理と減容化	静岡大学 齋藤 隆之
レーザー除染条件の明確化と粉塵飛散防止機構の研究	光産業創成大学院大学 藤田 和久

領域4：浜岡原子力発電所3,4,5号機の保守性・作業性の向上に資する研究

研究テーマ名	研究代表者
後方散乱X線CTによる大型構造物の非破壊検査技術の開発	名古屋大学 山崎 淳